



町長エッセイ



秋といえば、運動会と学校祭の季節です。

今年は9月16日が町内全ての小学校の運動会でした。台風の接近で天候が心配されましたが、競技・演技・応援と元気な声が響いていました。各校とも児童による運動会スローガン（「みんなの力は無限大 がんばる気持ちが一番賞」など）のもと、練習の成果を思い切りぶつける姿に保護者の皆さんと拍手をおくりました。

東中学校は学校祭です。音楽や絵画、創作展といずれも中学生らしい、芸術の秋にふさわしいパフォーマンスを見ました。さらに校長先生のギターを中心に、有志の先生たちによるバンド演奏があり、思わぬ一面を見る思いで興味

深く聞きました。樺台中学校の文化祭では、生徒有志による映像やダンス、エアーバンドがあり、西中学校のはなのき祭では、体験学習として空手、茶道、南京玉すだれなどがあり、三中学校とも吹奏楽部が活動しています。特に東中学校は定期演奏会をリリックで行い、どの小中学校も少子化を感じさせない元気な活動が見られました。

町立図書館では、「市民が描いた原爆の絵展」「収蔵資料が語る」小川町の戦争展が開催されていました。小川町では平和推進事業の一環として、戦争の悲惨さと平和の尊さを次の世代に伝えていくために、毎年8月6日の「広島平和記念式典」に町内の中学2年生を派遣しています。その報告をかねて、参加中学生の作文、歴代参加者の広報記録も展示されていました。

松本恒夫